

監督および競技者に対する注意事項

本大会は 2018 年度日本陸上競技連盟競技規則および同駅伝競走規準並びに本大会規則によって行う。

1. 出場競技者について

- ①男女ともに正式オーダーは本部で 8 時 15 分までにオーダーを記入する。
- ②正式オーダー提出後の競技変更は、病気・不慮の場合であり、会議で決定する。
なお、競技者の変更が認められた場合は、補欠をその区間の交代として補充するものとする。
- ③開会式には、男女監督及び選手 3 名が参加すること。(ただし、代理可)

2. 競技について

- ①競技者は所定のナンバーカードをユニホームの胸背に確実に取り付ける。
- ②タスキは主催者で準備されたものを使用する。このタスキは正式オーダー記入時に受け取り、競技終了後、ゴール付近の回収係に渡すようにする。
- ③レース中に走者が不慮の事故等で競技を中止した場合、駅伝競走規準により次走者を出発させる。この場合出発時刻は最後尾走者の 1 分後以降とし、レース状況を見ながら審判長が設定する。その際、記録は総合成績には入れないが事故のあった区間以外の区間記録は認める。
- ④競技者は、コース上のセンターラインがない走路においても右側を走らなければならない。ただし、第 1 区のスタート地点から B 地点を通過するまではこのかぎりでない。
- ⑤タスキは肩から腋の下にかけなければならない。かけていないと失格になる場合がある。ただし、前走者がたすきを外すのは中継線手前400mから、次走者がたすきをかけるのは中継後200mまでをおおよその目安とする。
- ⑥競技中は、伴走及び飲食物の提供、補給などの援助はできない。疑わしき行為のあったときは失格となる場合がある。

- ⑦中継点でタスキを渡し終わった競技者はすみやかにコース外に出ること。
- ⑧出発についてはスタート2分前に競技服装となり、1分前で出発線に並ぶ。
- ⑨出発は次のように合図する。

第1区走者にスタート1分前を予告。秒読みは30秒前、20秒前、10秒前、を
通告し、その後「位置について」を通告する。これで「用意」の姿勢をとる。
- ⑩中継所でのタスキの受け渡しは、中継線からその前方20m以内とする。
- ⑪競技会中の疾病・負傷については応急処置のみ行う。大会期間中の事故については、日本スポーツ振興センターの定めを適用する。参加者は、保険証又はその写しを持参すること。
- ⑫大会当日のコース上での練習は9時15分までとする。
- ⑬コースを間違えた場合、失格の原因となるが、その処遇については審判長が裁定する。
- ⑭強風によるテントの倒壊の恐れがあるため、各校で対応すること。また、役員の指示に必ず従うこと。

3. 競技者の招集開始時刻と場所について

招集点呼は各区分とも下記の時刻より招集場所において行う。

| | | | | | |
|----|---------|--------|----|---------|---------|
| 女子 | 第1区走者 | 9 : 15 | 男子 | 第1区走者 | 10 : 00 |
| | 第2,3区走者 | 9 : 30 | | 第2区走者 | 10 : 15 |
| | 第4,5区走者 | 9 : 40 | | 第3,4区走者 | 10 : 25 |
| | | | | 第5,6区走者 | 10 : 35 |